



平成29年12月4日

報道機関 各位

富山大学人間発達科学部附属幼稚園
「ぬいぐるみ病院」の開催について

富山大学人間発達科学部附属幼稚園におきまして、下記のとおり標記の行事を開催することとなりました。

つきましては、当日の取材・報道方よろしくお取り計らい願います。また、詳細な内容等は、添付のパンフレットをご参照願います。

記

1. 開催日 平成29年12月12日（火）
2. 場所等
 - ・場 所 富山大学人間発達科学部附属幼稚園 遊戯室
 - ・時 間 午前9時20分～11時10分

※ 駐車場は学園グラウンドです。附属幼稚園横よりお入りください。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学人間発達科学部附属幼稚園
副園長（城岡） TEL. 076-445-2812

平成29年11月吉日

報道機関 各位

富山大学人間発達科学部附属幼稚園みどり会
会長 田近 恭子

「ぬいぐるみ病院」について(ご案内)

小雪の候、貴社におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、今年度も富山大学「国際医療研究会」と「小児科訪問サークル青い鳥」との連携により、「ぬいぐるみ病院」を下記のとおり、実施することになりました。

つきましては、園児が富山大学の医学科、看護学科、薬学部の学生と一緒に活動する様子を取材していただきたく、ご案内いたします。お忙しいところ恐れ入りますが、何卒よろしく願いいたします。

記

1 日 時 平成29年 12 月12日(火) 9:20~11:10

2 場 所 遊戯室

3 内 容

①保健指導(全園児対象)

②問診ロールプレイ(年長児対象)

医学薬学部の学生が医師・看護師となり、園児は自分の大切にしているぬいぐるみを患者に見立て、診察の疑似体験をする。その際に、看病の仕方についての指導を受け、カルテをもらう。

4 ねらい

- 保健指導や本物の医療器具を使った問診ロールプレイを通して、園児が「医療に対する恐怖心を軽減し、親しみをもつ」「自分の身体や健康について関心を持つ」とともに、患者(ぬいぐるみ)へのいたわりや慈しみの心を養うことができる。(園児)
- 医学科、看護学科の学生の研修の場として、学生が子どもたちへの関わり方や、子どもたちの病気・健康に対する見方・感じ方・考え方を学ぶことができる。(学生)

5 スケジュール

9:20~ 9:40 保健指導
9:40~ 9:55 問診ロールプレイのための会場設営
9:55~ 11:10 問診ロールプレイ



ぬいぐるみ病院だより

～とやまぬいぐるみ病院プロジェクト～

1. ぬいぐるみ病院プロジェクトとは

ぬいぐるみ病院は子供と学生が一緒になって行う「おいしゃさんごっこ」のことです。活動は大きく分けて「問診(ぬいぐるみの診療)」と「保健教育」の2つから成っています。

元は、ドイツ発祥で、IFMSA(国際医学生連盟)における公衆衛生に関する活動として、世界中で行われています。日本国内でも、約40の医療系大学で行っています。

富山大学としては、「国際医療研究会」、「小児科訪問サークル青い鳥」を母体として、医学科、看護学科、薬学部の学生のうち子供の健康に関心のある有志が集まっております。現在、3つの幼稚園保育園の他、大学の学祭等で実施しています。

2. ぬいぐるみ病院の目的

i 子供たちに向けて

子供たちに健康や自分の体に興味を持ってもらい、よい生活習慣を身につけてもらうとともに、医療に対する恐怖感を緩和する。

ii 学生に向けて

子供たちから子供の病気に対する考えや理解を学ばせてもらうとともに、子供とのコミュニケーションを通じてコミュニケーション能力を向上させる。

3. 保健教育

今回はインフルエンザ予防を狙って、手洗いの劇と歌をしました。導入は手遊びから入りました。ピオレの歌なので、知っている子もいたのでは、と思います。これからしっかりと手洗いをしてくれることを願います。

4. 当日の問診の流れ

子供たちにはあらかじめ、ぬいぐるみ(おともだち)の病気や怪我の具体的な症状を考えしてもらい、そのぬいぐるみ(おともだち)と一緒に診察室に入って、医者、看護師役の学生とともに問診を行いました。診察結果は「かるて」として記入し、子供に持たせてあります。同時に「かるて」には、家で子供がぬいぐるみにしてあげること書いているので、お家でも学習の継続につながります。